

世田谷村日記

石山修武

一月二八日

七時半起床。朝の光が今日も横なぐりに大部屋に差し込んでい
る。体調の回復を過信せず、ヒタヒタとやっつてゆこう。昨夜はM
氏からの便りを遅くまで読んだ。九時半調布現場。梅沢良三氏構
造検査。十時半修了。帰途、アジア大津波の話などする。研究
室へ十一時四十五分。

十二時五〇分研究室出。高田馬場古市徹雄設計事務所に寄り、
共に津田沼の千葉工業大学キャンパスへ。十五時講演会。十七時
迄。修了後、東京駅のグリルで古市氏の次男と共に会食。二十一
時半散会。世田谷村に戻る。すぐに銅版画にとりかかり、一点を
完成させる。面白いのが出来て少し嬉しい。

一月二九日

〇時三〇分、少々疲れて銅版画製作ストップ。M氏からの便り
届いていて読む。七時四〇分起床。猫に食べ物をあげる。今は猫
と一番気持が通っているな。八時過銅板に手を入れる。不思議な
モノが出来た。十一時研究室で軽井沢の大野正行さん一家とお目
にかかる。近くのS邸と同時進行できそうなので御依頼を引き受
ける事にした。十三時大隈講堂三年設計製図公開講習会。スーザ
ン・ソングのキャンプを巡り、鈴木了二との掛合いクリティ
ックトークが面白かった。時々、クリティックはこういう事が起き
るから。でも学生は全然解らなかつたろう。十七時修了。十七時
半研究室に戻り、CEMA計画ミーティング。大沢温泉ホテル打

合わせ。十九時過、初台近くの寿司屋で若松社長と会食。李東植
同席。モスクワ、上海の事など聞く。二十三時前世田谷村に戻る。
浜松町泊の結城氏と電話で話す。農村計画へのアドヴァイス、メ
モを送ってもらう事を約す。